

平成28年度 北海道滝川高等学校定時制課程 年度末反省会議資料(生徒指導部)

領域	番号	目標	本年度の具体的方策	評価平均	分掌平均	達成度評価			分掌・係としての達成度評価についての自己分析	達成のための取組方法の改善や開始時期について
						Aの個数	Bの個数	Cの個数		
生徒指導部	1	基本的生活習慣の確立とあいさつの励行	規律ある生活の指導に努める。	3.1	3.3	4	5	0	・授業や行事でも規律を乱すことなく、落ち着いた学校生活を送ることができていた。	・遅刻、欠席の多い生徒がいるので、改善できるように働きかける。
	2		社会規範を守り、自らの言動に責任を持てるよう指導する。	3.2		4	5	0	・特別指導が1件もなかったことから、しっかり守られている。	・意識を高く持ち続けいく指導を今後も継続していく。
	3		自他の生命や人格を尊重し、行動することのできる生徒の育成を図る。	3.4		4	5	0	・いじめに関する指導もなく、他人を思いやる心が育っている。	・いつでも「いじめ」は起き得ることであるとの認識を忘れずに指導を続けていく。
	4		あいさつの継続した指導に努める。	3.3		5	4	0	・全教員で実施してきた成果が現れており、あいさつのできる生徒が多くなってきた。	・今後も継続して行う。
	5		言葉使いや礼儀作法の継続した指導を心がける。	3.1		3	6	0	・場面に応じて言葉遣いを使い分けられるように少しずつなっている。	・今後も継続して行う。
	6		健康と安全に関する広報活動に積極的に取り組む。	3.3		4	5	0	・養護教諭を中心に、様々な場面で声掛けを行ってきた。	・今後もタイムリーな情報提供ができるように指導を続けていく。
	7	教育相談の充実といじめ防止の取組	日頃より生徒とのコミュニケーションを大切にし、生徒理解に努める。	3.4		5	4	0	・全ての教職員で実施しており、情報交換も密に行われ、生徒理解に努めていた。	・今後も全教員で実施できる体制づくりを継続して行っていく。
	8		特別支援教育について研修を深め、生徒理解に基づいた生徒指導に取り組む。	3.2		4	5	0	・外部で実施されている研修等にも積極的に参加していくことも必要であった。	・養護教諭以外の人も積極的に研修や講演会などに参加していくことが必要である。
	9		不登校や特別な支援を必要とする生徒に対する指導に手厚く取り組む。	3.3		4	5	0	・保護者や外部機関ともよく連携し、しっかりと指導できていた。	・担任や委員会との連携をしっかりと詰っていく。
	10		日常の生徒観察や情報交換を適切に行い、いじめのない生徒集団を形成する。	3.6		5	4	0	・今年度はいじめのない生徒集団を形成することができた。	・いじめのない学校であることを生徒対の誇りにできるように今後も指導を続けていく。
	11	保護者との連携	三者面談や家庭訪問等を通じて保護者と生徒指導の連携を図る。	3.0		2	6	1	・分掌として三者面談や家庭訪問は実施していない。	・必要に応じて実施していく。
	12		保護者や関係機関との情報交換が適切に行われるなど、組織的な生徒指導に取り組む。	3.2		3	6	0	・外部機関と連携を図り、行事や講演等も有効的に実施することができた。	・来年度もしっかりと連携を図っていく。
	13	生徒会活動の活発化と積極的な取組	生徒の主体性を生かした生徒会活動を推進させる。	3.2		4	5	0	・レクについては新企画で継続してできた。	・継続的に指導する
	14		生徒一人一人が積極的に取り組める生徒会行事が企画・運営されるよう指導する。	3.2		5	4	0	・一年を通して積極的に取り組んだ。	・継続的に指導する
	15		HR、各委員会等を活用した組織的・系統的な活動体制を構築させる。	3.1		3	6	0	・特に問題なく実施した。	・次年度年間計画を考える。
その他、分掌として他の分掌や管理職に求める事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・現在まで特別指導・いじめの事案が一件もなかったことは大変評価できる。これも先生方による日常的な指導の成果だと感謝しています。 ・来年度は行事の精選を考えている。 							